

基本目標	基本方針	基本的な方向性	具体的な施策	KPI						基準日 (調査日)	結果公表日 (確認時期)	確認方法	担当課			
				項目	基準値(H26)	H27年(度)	H28年(度)	H29年(度)	H30年(度)					目標値(H31)		
1	産業振興策の構築		<基本目標1> 若い世代を中心として、安心して働くための産業振興と雇用の場の創出	市内事業所の従業員数	16,474人		15,757人			16,000人	7月1日 (5年毎)	翌年11月 (5年毎)	経済センサスによる(次期調査H31)	商工労働課		
			地域産業の競争力を強化する取組	ブランド化と高付加価値化	食品製造業の付加価値率	19.50%			22.40%		23.20%	6月1日	翌年3月	経済産業省工業統計または経済センサスによる (※国勢調査実施年は行わない)	商工労働課	
				強い農林水産基盤の形成												
				中心市街地と網走川周辺のにぎわい創出	中心市街地通行者数(平日)	6,592人	4,752人	4,040人	2,404人	1,006人	9,000人	10月	12月	交通量調査による。	商工労働課	
					中心市街地通行者数(休日)	4,008人	1,680人	2,908人	1,856人	905人	6,500人				商工労働課	
			国内外への販路拡大	販路拡大に向けた支援	HACCP認定施設保有企業数 ・ホタテ製品 ・サケ製品	4社 1社	4社 1社	4社 1社	4社 3社	4社 3社	5社 4社	3月	3月	厚生労働省、水産庁公式サイト	水産漁港課	
					海外輸出量 長いも	500t 2億円	300t 1億2千万円	248.8t 9,950万円	83.1t 5,136万円	119t 3,924万円	1,000t 4億円	3月	3月	JAオホーツク網走に確認	農林課	
					海外輸出量 その他農産物	0円	0円	0円	31万円	8万円	1億円	3月	3月		農林課	
					輸出相手国数	5カ国	2カ国	3カ国	3カ国	2カ国	7カ国	3月	3月	JAオホーツク網走に確認	農林課	
			網走港の活用	網走港からの移・輸出入貨物取扱量	37万t	38.1万t	40.6万t	38.5万t	39.5万t	41万t	12月	翌年1月 翌年2月	港湾統計 函館税関貿易速報	港湾課		
				網走港からの移・輸出入貨物取扱金額	5億円	4億7千万円	7億3千万円	5億1千万	11億4千万	7億円				港湾課		
			地域特性を活用した新エネルギーの利用や企業誘致の促進	再生可能エネルギーの利用促進 省エネルギー・新エネルギーの普及 企業誘致の促進	大規模発電の誘致件数	2施設	3施設	3施設	3施設	4施設	4施設	3月	3月	企画調整課調べ	企画調整課	
					企業誘致の促進	0件	0件	1件	2件	2件	2件	3月	3月	商工労働課調べ	商工労働課	
					雇用数	0人	0人	0人	0人	14人	20人	3月	3月	商工労働課調べ	商工労働課	
			多様な就労環境の創出	若い世代を中心とした就労機会の拡大	若者の就労促進	高校卒業者市内就職率	60%	55.30%	63.92%	51.90%	61.43%	65%	4月	7月	網走市進路状況調査による	商工労働課
					女性の就労促進	女性の就労割合	41.10%		42.20%		41.90%	43.00%	10月1日 (隔年)	翌年5月	網走市労働実態調査による	商工労働課
障害者やシニア世代の就労促進	シルバー人材センター会員数	358人			364人	358人	347人	324人	428人	3月	3月	シルバー人材センター会員実績	商工労働課			
若者や女性を含めた起業・事業化、新製品創出支援	市と会議所が支援した起業・創業数	9社			12社	17社	29社	40社	50社	3月	3月	創業者実績(累計)	商工労働課			
U・Iターンの推進	定住する協力隊員数	0人			0人	0人	0人	0人	6人	3月	3月	企画調整課調べによる	企画調整課			
2	交流人口の拡大		<基本目標2> 観光や健康・スポーツなど網走の地域特性を生かした交流人口の拡大	観光入込客数	141万5千人	153万2千人	153万人	162万人	147万人	170万人	3月	5月	観光客入込調査による	観光課		
			「おいしいまち」網走のブランド化	観光素材・商品のブラッシュアップ	観光客の宿泊客数	35万9千人	37万4千人	36万6千人	38万5千人	35万4千人	50万9千人	3月	5月	観光客入込調査による	観光課	
				体験型観光の促進												
				「おいしいまち」網走のPR												
			天都山エリアの魅力構築	天都山周辺施設入込客数	36万8千人	44万人	42万5千人	45万4千人	43万2千人	49万人	3月	5月	観光客入込調査による	観光課		
			スポーツ・芸術文化を切り口とした交流人口の拡大	合宿参加人数 スポーツ	1,735人	1,753人	1,784人	1,985人	1,828人	2,000人	3月	5月	社会教育課が部取りまとめ確認	スポーツ課		
				合宿参加人数 文化	177人	140人	108人	96人	100人	300人				社会教育課		
				新たなスポーツイベントなどの創出	合宿及びスポーツ・ツーリズムによる経済波及効果	5億5,450万円	7億2,798万円	7億1,605万円	7億8436万円	7億858万円	7億2,830万円	3月	5月	社会教育課が部取りまとめ確認	スポーツ課	
			マーケット視点に立った観光客の誘致拡大	広域連携による国外観光プロモーション展開	外国人宿泊客数	3万1千人	3万6千人	3万7千人	4万1千人	4万2千人	6万人	3月	5月	観光客入込調査による	観光課	
				観光客の利便性向上												

基本目標	基本方針	基本的な方向性	具体的な施策	KPI						基準日 (調査日)	結果公表日 (確認時期)	確認方法	担当課		
				項目	基準値(H26)	H27年(度)	H28年(度)	H29年(度)	H30年(度)					目標値(H31)	
3	<基本目標3> 若い世代が健康で、希望に応じて結婚・出産・子育てができる環境づくり			合計特殊出生率	(H20-24) 1.51	(1.64)	(1.48)	1.60	1.51	(1.65)	12月 (5年毎)	翌々年2月	人口動態保健所・市区町村別統計 ※健康推進課調べによる単年の数値 (参考値)は毎年3月	健康推進課	
	結婚・妊娠・出産・子育てについて切れ目ない支援	結婚・出産の意識改革	結婚・出産・子育てに関する学習機会の提供	出会いの場の創出数	3回	3回	3回	2回	0回	6回	3月	3月	網走市出会いの場創出事業開催補助金交付等実績による	企画調整課	
			出会いの場の創出												
		周産期・小児医療の確保	周産期・小児医療提供体制の充実	産科医療機関数	2施設	2施設	2施設	2施設	2施設	2施設	2施設	3月	3月	健康推進課調べによる	健康推進課
				小児科医療機関数	4施設	4施設	4施設	4施設	4施設	4施設	4施設	3月	3月	健康推進課調べによる	健康推進課
				感染症予防対策の実施	子どもインフルエンザ予防接種率	70.40%	67.45%	68.83%	68.11%	68.90%	75.00%	3月	3月	健康推進課調べによる	健康推進課
		出産・子育ての負担の軽減	子育て世帯への支援	病後児保育対応保育所数	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	1カ所	3月	3月	※31年度稼働予定	子育て支援課
	妊婦・乳幼児の健診、相談等の実施			合計特殊出生率(再掲)											
	不妊治療・不育症に対する支援														
	ワーク・ライフバランスの実現	学習機会の提供と実践	子育て世代への学習機会の提供	子育てがしやすいと感じる割合	56.40%					64.33%	65.00%	11月 (5年毎)	翌年3月	子ども子育て支援事業計画策定に当たっての市民アンケート調査(次期H31.3) ※未就学世帯回答分 ※有効回答割合による数値	子育て支援課
	子どもと子育てについての意識改革の推進														
若い世代が安心して働ける場の確保	雇用の場の創出と就労支援	ブランド化と高付加価値化の推進(再掲)	食品製造業の付加価値率(再掲)												
		若者や女性を含めた起業・事業化、新製品創出支援(再掲)	市と会議所が支援した起業・創業数(再掲)												
		若者の就労促進(再掲)	高校卒業就職者市内就職率(再掲)												
4	<基本目標4> 東京農業大学、日本体育大学などと連携し、みずから学び「明日をひらく」との育成			全国学力調査の全国平均正答率との差 ・小学生 ・中学生	△3.3 △4.3	△2.5 △1.4	△2.3 △3.7	△0.9 △4.8	△2.7 △0.9	全国平均	4月	8月	全国学力・学習状況調査	学校教育課	
				全国体力調査の全国平均点との差 ・小5男子 ・小5女子 ・中2男子 ・中2女子	△2.71点 △3.75点 △3.39点 △9.23点	△0.6点 +0.3点 △4.1点 △6.5点	+1.5点 △0.5点 △2.2点 △6.7点	△1.2点 △0.8点 △2.5点 △5.3点	+0.2点 +1.5点 △0.8点 △2.8点	全国平均	4~7月	12月	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査	学校教育課	
	東京農業大学や日本体育大学附属高等支援学校との連携	東京農業大学との連携	地元に着する人材の確保	農大卒業就職者の市内就職者数	8人	8人	4人	3人	9人	16人	4月	7月	網走市進路状況調査による	商工労働課	
			調査・研究機関の交流促進	調査・研究などの連携事業数	4件	4件	4件	4件	4件	5件	3月	3月	水産漁港課調べによる	農林課 水産漁港課	
			地域連携センター機能の検討	地域連携センターへの参加自治体数	0自治体	0自治体	0自治体	0自治体	0自治体	5自治体	3月	3月	企画調整課調べによる	企画調整課	
	日本体育大学附属高等支援学校との連携	学校設立などに関する支援	雇用創出数 教職員	5名	14名	18名	16名	23名	55名	4月	5月	日体大に聞き取り	企画調整課		
			雇用創出数 他職員	0名	0名	17名	19名	21名	15名				企画調整課		
	障がい者教育・雇用の支援	日本体育大学附属高等支援学校による市民スポーツ活動への支援	障がい者雇用の促進	障がい者雇用の促進	94名 38所	—	41名 25所	—	30名 19所	103名 42所	10月1日 (隔年)	翌年5月	網走市労働実態調査	社会福祉課	
	多様な人材の確保	大都市圏などからの人材確保	多様な知識・経験を有する人材の還流	定住する協隊員数(再掲)											
人材の育成・確保		多様な人材の育成・確保	食の6次産業化プロデューサー育成	1人	5人	16人	16人	16人	25人	3月	5月	東京農大に聞き取り(累計数)	企画調整課		
子どもの学力・体力向上の推進	子どもの学習環境の充実	子どもの基礎学力や体力などの増進	全国学力調査の全国平均正答率との差(再掲) 全国体力調査の全国平均点との差(再掲)												
		ICTを活用した授業の推進	読書が好きな児童・生徒の割合 ・小学生 ・中学生	60% 69%	68.9% 70.5%	69.4% 70.3%	58.7% 60.5%		70% 75%	4月	8月	全国学力・学習状況調査	学校教育課		
		多様な学習の場の創出	子どもの学習の場の参加者数	696人	563人	747人	844人	603人	800人	3月	5月	社会教育課が部取りまとめ確認	社会教育課		
社会教育の推進	市民の学びの場の充実	網走の地域資源や歴史・文化を学ぶ機会の創出	市民対象講座の参加者数	2,600人	3,478人	2,808人	3,249人	3,091人	3,000人	3月	5月	社会教育課が部取りまとめ確認	社会教育課		
		生涯スポーツの推進													

基本目標	基本方針	基本的な方向性	具体的な施策	KPI						基準日 (調査日)	結果公表日 (確認時期)	確認方法	担当課
				項目	基準値(H26)	H27年(度)	H28年(度)	H29年(度)	H30年(度)				
<基本目標5> 支え合い、安心して暮らすことができる共生型地域社会づくり			健康寿命 男性 女性	78.43歳 83.06歳	78.33歳 82.61歳	78.83歳 84.10歳	79.06歳 84.02歳	79.19歳 84.11歳	79.34歳 84.19歳	12月	12月	聞き取り	健康推進課
			人口の維持	39,811人	39,077人				38,616人	10月1日 (5年毎)	翌年2月	国勢調査	健康推進課
			生活習慣病罹患率	22.71%	20.97%	22.23%	21.50%	22.91%	19.98%	5月	5月	・5月レセプトの「糖尿病」「高血圧症」 「高脂血症」の診療件数割合の合計	戸籍保険課
住み慣れた地域で安心して暮らせる基盤整備	安全・安心なライフラインの構築	インフラの戦略的な予防保全	・橋梁補強 完了率 ・浸水対策 完了率	33% 23%	33% 35%	33% 50%	67% 59%	67% 94%	100% 100%	3月	3月	都市整備課発注進捗調べによる	都市整備課 下水道課
		防災体制の強化	自主防災組織の組織率	54%	63%	63%	64%	70.5%	70%	3月	3月	市民活動推進課調べによる	市民活動推進課
	健康寿命の延伸	生活習慣病などの予防対策	特定健康診査受診率	24.10%	26.20%	25.40%	23.40%	22.60%	60.00%	11月	11月	特定健診受診率法定報告	戸籍保険課
			生活習慣病罹患率(再掲)										
		休日・夜間の救急医療の確保	休日救急体制の対応日数 看護師数	72日 608人	72日 —	72日 —	72日 —	73日 —	72日 647人	12月	12月	医師会、関係医療機関に聞き取り	健康推進課
		高齢者や障害者が暮らしやすいまちづくり	高齢者の社会参加の割合	23%	23%	26%	27%	26%	40%	H29 (3年毎)	H30.3	介護予防等事業への参加者数で確認	介護福祉課
		日本版CCRCの検討											
小さな拠点づくりを結ぶコンパクトシティの推進	コンパクトシティの推進	コンパクトシティの実現に向けた取組	住み替え用高齢者公営住宅整備戸数	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	10戸	3月	3月	建築課調べによる	建築課
	小さな拠点の強化	地域コミュニティの強化	高齢者相互支援推進啓発員数	27人	62人	78人	84人	92人	100人	3月	3月	社会福祉協議会調べ	介護福祉課
公共施設などのマネジメント強化と住環境づくりの推進	公共施設などのマネジメント強化	公共施設などの計画的な管理	公共施設等の総面積の縮小	319千㎡	319千㎡	319千㎡	325千㎡	未確定 (313千㎡)	303千㎡	10月	10月	公共施設等総合管理計画(H28.11策定)に基づき、固定資産台帳の年度更新時に確認	財政課
		公共施設などの環境改善の推進	・多機能トイレ数 ・洋式化率	7カ所 46.0%	9カ所 57.0%	9カ所 57.2%	10カ所 59.0%	11カ所 59.0%	9カ所 60.0%	3月	3月	建築課調べによる	建築課
			耐震化実施率	94.80%	94.80%	93.59%	93.59%	94.94%	100%	3月	3月	建築課調べによる	建築課
	住環境の提供	空き家対策の推進	空き家バンク登録数	0件	0件	36件	23件	21件	10件	3月	3月	建築課調べによる	建築課
			空き家の利活用件数	0件	0件	0件	0件	0件	8件	3月	3月	建築課調べによる	建築課
		住環境の改善	省エネ住宅新築戸数	27戸	25戸	28戸	28戸	33戸	34戸	3月	3月	建築課調べによる	建築課
			バリアフリー改修戸数	13戸	8戸	10戸	8戸	6戸	20戸	3月	3月	建築課調べによる	建築課
地域間連携施策の推進	定住自立圏等の地域間連携の推進	定住自立圏による地域間連携の推進	生活交通バス路線数	7路線	7路線	7路線	7路線	7路線	7路線	3月	3月	年度末実績	商工労働課
		その他の広域連携の推進	救急医療体制の対応日数	365日	365日	365日	365日	365日	365日	3月	3月	医師会、消防本部に聞き取り	健康推進課
			救急搬送疾病程度軽傷割合	37.10%	38.30%	35.40%	35.30%	31.60%	35.00%	3月	3月		健康推進課

地方創生推進交付金事業一覧

番号	事業名	事業内容	決算額(円)	交付金額(円)	網走市総合戦略との関連
1	網走市生涯活躍のまち(CCRC)構築推進事業	・網走版CCRC構想の検討 ・東京農大が実施する社会人向け講座「創成塾」への支援	5,031,030	2,858,000	○支え合い、安心して暮らすことができる共生型地域社会づくり ・日本版CCRCの検討 ・人口の維持 ・高齢者の社会参加の割合
2	新たな「まちづくり会社」による地域商社機能の強化と中心市街地の活性化を促す総合支援体制の構築事業	・ラルズ跡地でのイベントの開催 ・まちづくり会社の運営、地域商社機能の強化	2,612,653	1,350,000	○若い世代を中心として、安心して働くための産業振興と雇用の場の創出 ・中心市街地と網走川周辺のにぎわいの創出
3	長いもの有効成分を活用した新たな機能性商品開発	・長いもの機能性商品開発に係る研究委託 ※大空町との連携事業	10,000,000	5,000,000	○若い世代を中心として、安心して働くための産業振興と雇用の場の創出 ・地域産業の競争力を強化する取組 ・国内外への販路拡大
4	地域大学を核としたインターンシップの活用による就労機会の創出と若者定着推進事業	・東京農業大学首都圏キャンパス(世田谷・厚木)の学生の農業インターンシップの受入 ※大空町との連携事業	1,186,815	251,000	○東京農業大学、日本体育大学などと連携し、みずから学び「明日をひらくひと」の育成 ・地元に着用する人材の確保
5	オホーツク地域サイクリングブランド化推進強化事業	・オホーツク地域サイクリングブランド化推進協議会への負担金(サイクリングルート調査、モニター調査、人材育成の実施) ※北見市、大空町との連携事業	6,000,000	3,000,000	○観光や健康・スポーツなど、網走の地域特性を生かした交流人口の拡大

地方創生拠点整備交付金事業一覧

番号	事業名	事業内容	決算額(円)	交付金額(円)	網走市総合戦略との関連
1	日本体育大学と連携した障がい者スポーツを核とする地方創生	・日体大高等支援学校屋内直線走路整備事業 ・日体大連携スポーツ教室開催事業 ・障がい者スポーツ教室開催事業 ・障がい者スポーツ合宿誘致事業	331,527,094	133,002,895	○東京農業大学、日本体育大学などと連携し、みずから学び「明日をひらくひと」の育成 ・日体大高等支援学校との連携

第 1 期「網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略」検証

1 趣旨

網走市では総合戦略の策定・推進（進捗管理、課題整理）に関する議論を行うため、産学官金労の連携による「網走市選択する未来会議」を設置している。

令和 2 年度から始まる第 2 期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けて「網走市選択する未来会議」での議論及び H30 年度までの実績から第 1 期総合戦略の検証を行った。

（網走市選択する未来会議委員） H31. 4. 1

団体名	役職	氏名
オホーツク網走農業協同組合	組合長	岡本 一男
網走漁業協同組合	組合長	新谷 哲也
西網走漁業協同組合	組合長	清野 一幸
網走商工会議所	会 頭	北村 讓二
網走市観光協会	会 長	小澤 友基隆
網走医師会	会 長	金川 有一
網走市社会福祉協議会	会 長	鬼塚 勝安
東京農業大学生物産業学部	学部長	吉田 穂積
日本体育大学附属高等支援学校	校 長	島崎 洋二
網走信用金庫	理事長	伴 道弘
網走地区連合会	会 長	橋本 修平
網走市青年団体連合会	代 表	長井 寿公
東京農業大学農友会総務部	-	増田 耕大
NPO法人創成塾	副理事長	石原 久美
網走市町内会連合会	会 長	黒田 幸市

（網走市選択する未来会議開催状況）

開催日	主な議論内容
H27. 6. 12	総合戦略策定、基本目標の考え方について
H27. 8. 28	人口ビジョン、総合戦略骨子、KPIについて
H27. 10. 23	総合戦略（素案）に対する意見、意見を踏まえた最終案について
H28. 5. 31	KPI達成状況について
H29. 3. 2	KPI達成状況について、H28 年度取組状況、H29 年度予定事業
H29. 6. 28	KPI達成状況について
H30. 11. 9	KPI達成状況について

2 検証の構成

- ①人口ビジョンの検証
- ②総合戦略の検証
- ③現行戦略策定後の社会情勢の変化
- ④今後重点的に取り組むべき事項・方向性

3 検証内容

①網走市の人口動態と人口ビジョンの検証

1. 自然動態及び社会動態

国のH30人口動態統計では出生数減少、死亡数増加により自然増減数は△444,085人と12年連続で減少、北海道でも△31,546人となっている。

網走市においても同様の傾向が続いており、△220と死亡数が出生数を上回っている。一方でH30合計特殊出生率は1.51となっており、H29の1.60から低下しているものの、国の1.42を大きく上回る水準を維持している。

人口の社会動態は、長期にわたり転出超過による社会減少が継続している。中でも平成26年以降は女性の転出超過がより顕著になっている。

一部道内市町村では外国人転入により転入超過となっているが、網走市では外国人転入の影響は小さく、社会減少が長く続いている。一方で人口構造においては東京農業大学生物産業学部、日本体育大学附属特別支援高等学校の存在により、10歳代後半～20歳代前半の人口が比較的多い特長がある。

2. 人口ビジョンの検証

人口ビジョンは、中長期的な人口減少対策の取組の方向性を検討する基礎となるものである。網走市では現行の人口ビジョンにおいて、2040年に32,900人を維持することを目標に掲げている。

第2期総合戦略の策定に当たっては、状況変化等を踏まえた上で必要な見直しを検討することが求められている。

人口ビジョンの検証にあたり、本市においては、人口ビジョンは2040年に目標とする人口を確保するための指標であり、中長期的な視点で検証すべきものであること、国の人口ビジョンの見直しが予定されていないこと、国の指摘する外国人人口の情勢については網走市では影響が小さいこと等を鑑みると、現時点での修正を要しないものと判断できる。

しかし、この5年間の人口減少については直視する必要がある、時点修正など必要に応じて検討は行うべきである。

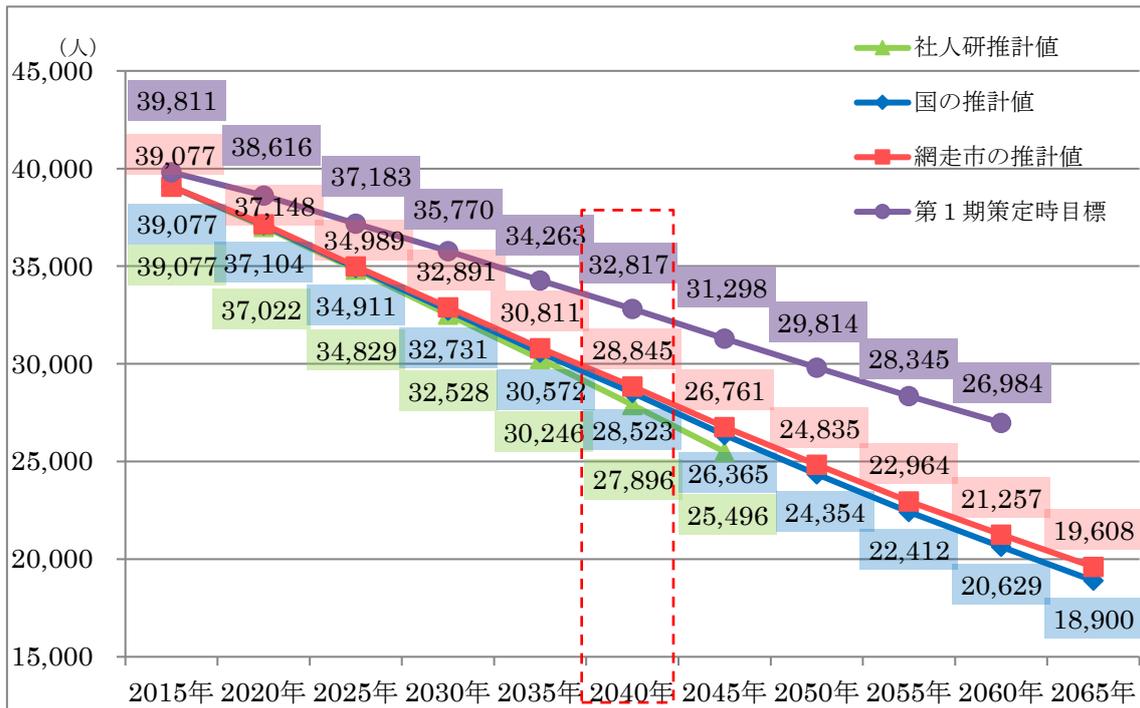


図1-1 人口の将来展望（H27 国勢調査ベース）

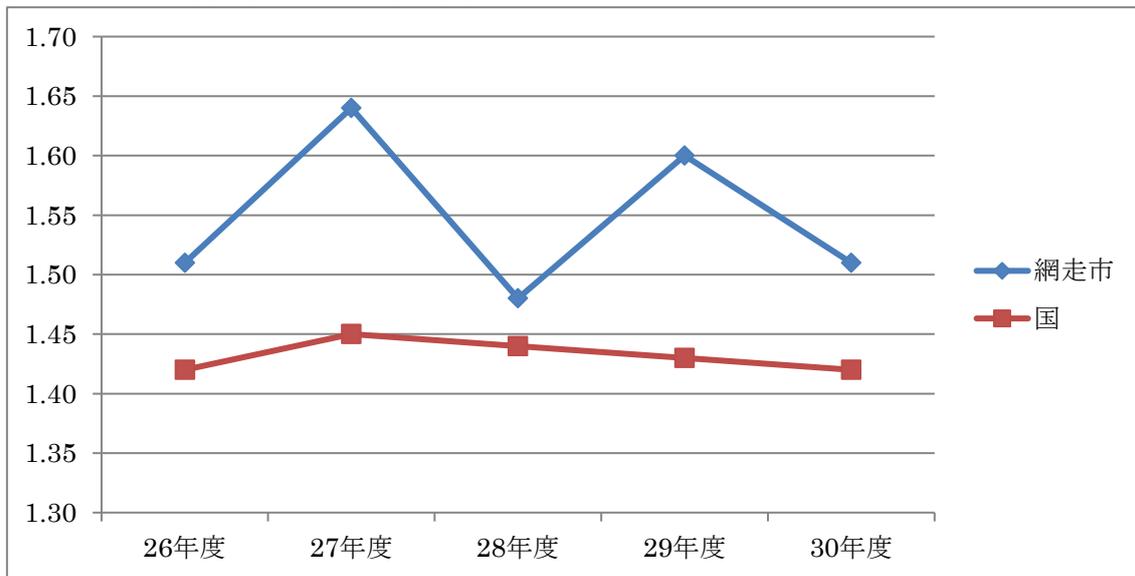


図1-2 合計特殊出生率の推移

②総合戦略の検証

1. 戦略の基本的な考え方

人口減少や人口構造の変化による各分野への影響を緩和し、市民の住みよい環境の持続的確保および目標人口の維持を達成するためのもの。

平成20～29年度までの網走市が目指すまちの姿や目標、各分野におけるまちづくりの方向などを示す「第5期網走市総合計画」の戦略版に位置付けられている。

2. KPI (Key Performance Indicators) : 実現すべき成果に係る重要評価指標のこと
 総数が64件あり、このうち5つの基本目標に係るKPIが8件、その下の各施策に係るものが56件となっている。

- ・ **基本目標に係る KPI は 8 本すべてが達成率 80%以上**
- ・ **各施策に係る KPI は 56 本中 33 本が達成率 80%以上**

〈基本目標 1. 若い世代を中心として、安心して働くための産業振興と雇用の場の創出〉

	全KPI	基本目標	各施策のKPI
80%以上	10	1	9
80%未満	8	0	8
合計	18	1	17

〈基本目標 2. 観光や健康・スポーツなど網走の地域特性を生かした交流人口の拡大〉

	全KPI	基本目標	各施策のKPI
80%以上	4	1	3
80%未満	3	0	3
合計	7	1	6

〈基本目標 3. 若い世代が健康で、希望に応じて結婚・出産・子育てができる環境づくり〉

	全KPI	基本目標	各施策のKPI
80%以上	6	1	5
80%未満	1	0	1
合計	7	1	6

〈基本目標 4. 東京農業大学、日本体育大学などと連携し、
みずから学び「明日をひらくひと」の育成〉

	全KPI	基本目標	各施策のKPI
80%以上	6	2	4
80%未満	6	0	6
合計	12	2	10

〈基本目標 5. 支えあい、安心して暮らすことができる共生型地域社会づくり〉

	全KPI	基本目標	各施策のKPI
80%以上	15	3	12
80%未満	5	0	5
合計	20	3	17

※指標によっては2019年度末での効果発現を前提としているものもある。

基本目標ごとに見ると、

3. 若い世代が健康で、希望に応じて結婚・出産・子育てができる環境づくり

5. 支えあい、安心して暮らすことができる共生型地域社会づくり

に掲げる KPI で達成率 80%以上のものが多く、

1. 若い世代を中心として、安心して働くための産業振興と雇用の場の創出

2. 観光や健康・スポーツなど網走の地域特性を生かした交流人口の拡大

4. 東京農業大学、日本体育大学などと連携し、みずから学び「明日をひらくひと」の育成
に掲げる KPI で現時点では十分な政策成果が発現していないものが多い。

基本目標に係る KPI は概ね順調に進展しているものの、各施策の KPI では、特にひと・しごと分野での遅れが目立つ。

これらについては、KPI の設定方法も含め、課題を踏まえ必要な見直しや新たな展開を図る必要がある。

3. 第 2 期「総合戦略」における KPI 検証のあり方について

第 2 期「総合戦略」においても、引き続き、設定した基本目標や KPI について、市民各層による広い視野からの協議・検討を行うため設置された「選択する未来会議」において定期的な検証を行い、必要に応じ見直しを行う必要がある。

③現行戦略策定後の経済・社会情勢の変化

第 1 期総合戦略策定以降、経済・社会情勢は大きく変化しており、これらに対応する新たな視点に着目した施策の推進が求められる。

(1) 地方へのひと・資金の流れを強化する

- ・将来的な地方移住にもつなげる「関係人口」の創出・拡大
- ・企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化

(2) 新しい時代の流れを力にする

- ・ Society5.0※1 の実現に向けた技術の活用
- ・ SDGs※2 を原動力とした地方創生
- ・ 「地方から世界へ」

(3) 人材を育て活かす

- ・ 地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援

(4) 民間と協働する

- ・ 地方公共団体に加え、NPO などの地域づくりを担う組織や企業と連携

(5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ・ 女性、高齢者、障がい者、外国人等誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現

(6) 地域経営の視点で取り組む

- ・ 地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント

※1 Society5.0：情報社会（Society4.0）に続く、我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱されたもの

※2 SDGs：2015年9月の国連サミットで採択された、2016年から2030年までの国際目標持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成される

④第2期総合戦略で重点的に取り組むべき課題・方向性

地方創生は息の長い取組であり、第1期で根付いた地方創生の意識や取組を第2期以降にも継続する必要がある。

現行戦略の検証結果に加え、経済社会情勢の変化による新たな視点を追加し網走市の地域特性に応じた取組を行う必要がある。

(1) 基本目標

第1期の枠組を維持しつつ、必要な強化を図る。

- ◆「若い世代を中心として、安心して働くための産業振興と雇用の場の創出」
⇒「地域づくりを担う組織や企業との連携」の観点を追加
- ◆「観光や健康・スポーツなど網走の地域特性を生かした交流人口の拡大」
⇒「関係人口の創出拡大」の観点を追加
- ◆「若い世代が健康で、希望に応じて結婚・出産・子育てができる環境づくり」
⇒「誰もが活躍できる地域社会※をつくる」観点を追加
※女性、高齢者、障がい者、外国人など誰もが活躍できる地域社会
- ◆東京農業大学、日本体育大学などと連携し、みずから学び「明日をひらくひと」の育成
⇒地方創生の基盤をなす人材に焦点を当てた人材育成に重点をおいて推進
- ◆「支えあい、安心して暮らすことができる共生型地域社会づくり」
⇒「新しい時代の流れを力にする」観点を追加

(2) 重点課題

網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証結果、経済社会情勢の変化による新たな視点を踏まえて以下の取組を重点課題と考える。

1	産学官金労連携（未来を考える戦略センター（仮称））による産業振興、雇用創出、地域ブランディング
2	1次産品の6次化含む高付加価値化（長いも、もち麦（大麦））、販路拡大
3	植物工場の誘致・設置（網走刑務所の資源活用、リ・エントリー）
4	網走の地域特性を生かした交流・関係人口の創出（スポーツ合宿、UIJターン推進）
5	東京農業大学生物産業学部、日本体育大学附属高等支援学校卒業生の定住推進
6	SDGs の取組
7	Society5.0、観光Maas（新モビリティサービス推進、JR路線存続維持の実現に向けた取組）

次期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けたスケジュール

(網走市)

時 期	概 要
10月下旬	第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案策定
～	各部検討
12月下旬	第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略原案策定
～	パブリックコメント
1月下旬	第9回選択する未来会議（戦略原案審議）
2月下旬	第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
3月上旬	第10回選択する未来会議（戦略最終案審議）
3月下旬	第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定完了

(国)

時 期	概 要
6月21日	基本方針 2019 閣議決定
11月	第2期総合戦略骨子審議
12月中下旬	第2期総合戦略案の審議
12月下旬	第2期総合戦略閣議決定